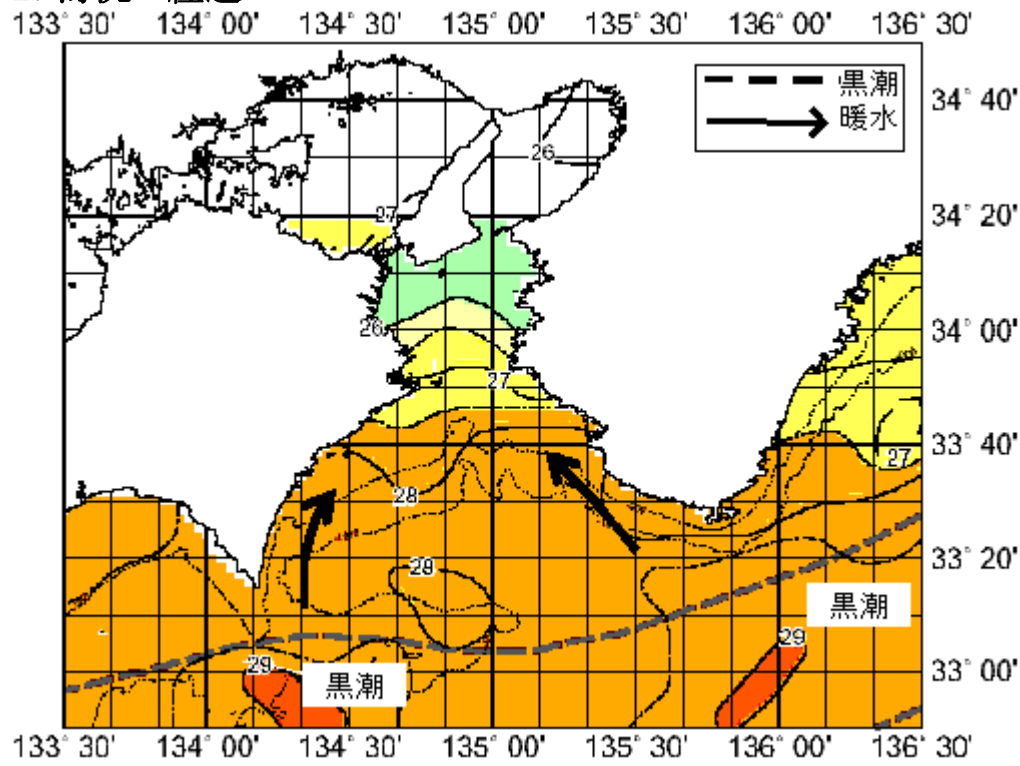


1. 海況の経過



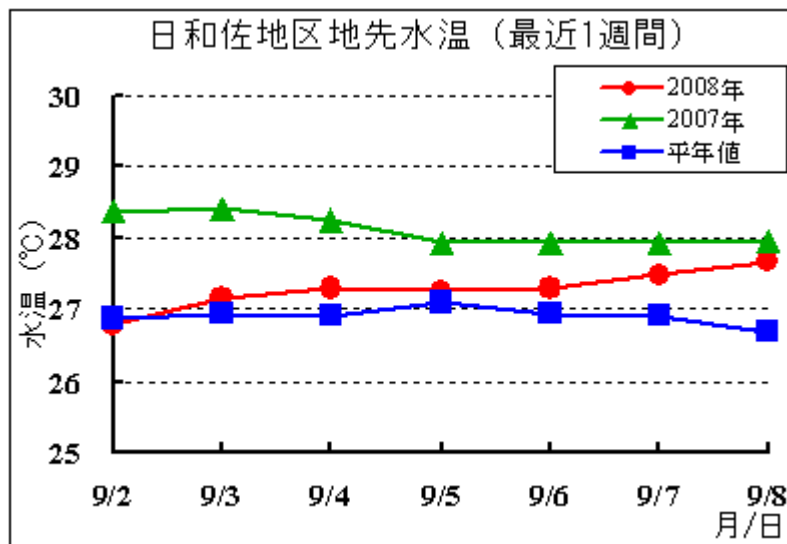
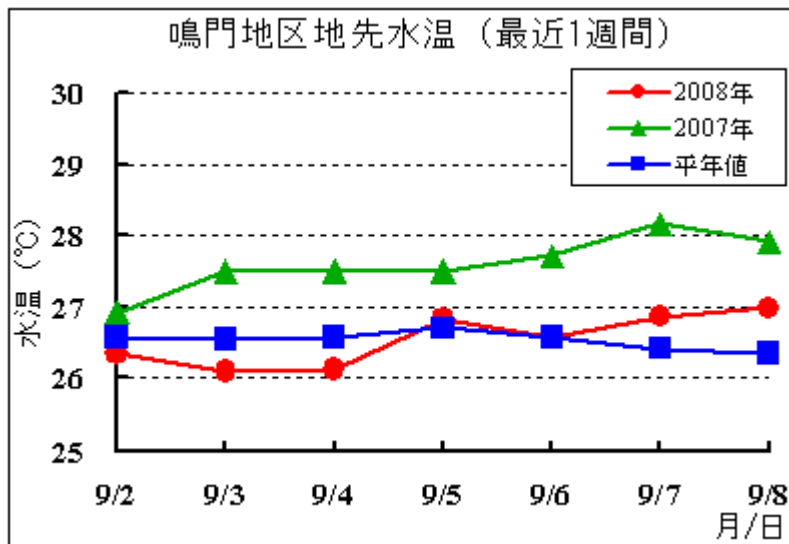
海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.09.08)を示した。黒潮は室戸岬沖で接岸、潮岬沖でやや離岸している。黒潮本流の表面水温は28~29℃台である。表面水温は播磨灘が26℃台、紀伊水道内部が25~26℃台、外域が26~28℃台である。紀伊水道外域は、先週に比べ黒潮が接岸傾向になったため、徳島側、和歌山側で分枝流が発生している。漁業調査船「とくしま」が9月2日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層~30m層が「平年並み」の25.2~27.0℃であった。

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	27.0	26.2	25.9	25.2	今年値	32.4	32.5	32.6	32.6
平年偏差	-0.2	-0.2	-0.2	-0.3	平年偏差	0.8	0.8	0.8	0.7
前年偏差	-0.7	-1.2	-1.4	-1.6	前年偏差	0.4	0.5	0.5	0.4

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや低め」~「やや高め」の26.1~27.0℃、日和佐地区は「平年並み」~「やや高め」の26.8~27.7℃、牟岐地区は「やや高め」~「高め」の27.5~28.3℃で推移した。



## 2. 漁況の経過

**延縄:**海部沿岸で、カワハギが0.3トン(1日1隻あたり44kg)水揚げされた。

**小型定置網:**海部沿岸で、アオリイカが0.2トン(同8kg)、小小主体にカマス類が0.6トン(同16kg)、マメ主体にマアジが5.9トン(同255kg)、マルソウダが0.9トン(同12kg)、大主体にヤマトカマスが0.9トン(同186kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、イサキが0.3トン(同39kg)、特大主体にタチウオが0.4トン(同10kg)、中主体にビンナガが0.3トン(同38kg)、大主体にヨコワが0.4トン(同8kg)、紀伊水道で、中主体にサワラが0.5トン(同33kg)、特大主体にタチウオが1.4トン(同21kg)水揚げされた。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが17.3トン(同175kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 09月01日～09月07日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄		カワハギ	8	349	44	
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	28	214	8	
		カマス類	40	638	16	小小主体
		マアジ	23	5,862	255	マメ主体
		マルソウダ	71	886	12	
		ヤマトカマス	5	930	186	大主体
		イサキ	8	313	39	
釣り		タチウオ	40	399	10	特大主体
		ビンナガ	7	265	38	中主体
		ヨコワ	45	373	8	大主体
		サワラ	16	534	33	中主体
	紀伊水道	タチウオ	67	1,399	21	特大主体
		シラス	99	17,325	175	
パッチ網						

### 特異事項:

播磨灘と紀伊水道で、ユウレイクラゲが出現している。

### 週間予報:

黒潮は、室戸岬で接岸、潮岬でやや離岸～接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の27℃台、日和佐地先で「やや高め」の27℃台で推移する見込み。

### \*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上